



3回目となる獣友会との 二ホンジカ等捕獲協定の締結

利根沼田署では地元獣友会と連携し、国有林野内でのニホンジカ等獣害対策を効果的に実施するための捕獲協定を11月2日に締結しました。これは、平成26年度に「群馬県利根沼田地域鳥獣被害対策推進会議」が設立され、当署と獣友会が構成員になつたことから、「推進会議」の設置目的である「利根沼田地域の関係機関等の連携を図り、被害対策を効率的に推進するため」の一つの方策として実施しているものです。

利根沼田森林管理署

特に、当署においては管内の森林面積の約64%を国有林が占めるため、

いたきました。

当日は、林業・木材産業について実際に現場を見て理解を深めていた

今月の表紙 「『山の日』イベント」

福島森林管理署では、平成26年

度から、福島市土湯温泉近くの国有

林内森林公園「きぼっこ」(“きぼっこ”とは、“こけし”的

ことです。)において樹木博士への認定試験を開催しています。

今年は、一般60名の家族を公募し、

今年から祝日となつた「山の日」の8月11日に「親子『子ども樹木博士』

チエレンジ2016」と銘打つて、

樹木博士のイベントを行いました。

試験木には、遊歩道沿いの樹皮や葉・使われる用途・匂いなど特徴の

オマス発電は様々な課題をクリアし、資源の循環利用を推進してほしい。

いただきましたご意見は、今後の

国有林事業に活かせるよう取り組んでまいります。



木質バイオマス発電所の視察

総務企画部 企画調整課 国有林モニターア会議を開催

関東森林管理局では、国有林野事業をご理解いただくとともに、国有林野の管理経営に役立てていくため、一般公募による70名の方に国有林モニターを依頼しています。

国有林モニターの皆様には、広報誌や森林・林業に関する資料を毎月お送りするとともに、年2回のアンケートや意見交換などを行う国有林モニター会議を実施しています。今年度のモニター会議は9月27日に茨城森林管理署管内で開催し、16名の国有林モニターの方々にご参加



国有林モニターの皆様には、広報誌や森林・林業に関する資料を毎月お送りするとともに、年2回のアンケートや意見交換などを行う国有林モニター会議を実施しています。今年度のモニター会議は9月27日に茨城森林管理署管内で開催し、16名の国有林モニターの方々にご参加

が満点となり、参加者全員に当署長から樹木博士に認定する賞状を授与して終了(写真下)しました。